フェムトセル基地局を利用した携帯電話サービスを円滑に 提供するための運用ガイドラインの主な改定のポイント

1. 携帯電話用運用ガイドライン中で参照している事業用電気通信設備規則の改正に
ともない生じた条ずれへの対応

（通話品質（36条の3⇒35条の18）、接続品質（36条の4⇒35条の19）、緊急通報を扱う事業用電
気通信回線設備（36条の6⇒35条の20）

2. フェムトセル基地局を利用した携帯電話サービスの開始前の想定に基づく規定を
当該サービス実施後の実態に合わせた表現に見直し

（「はじめに」の内容、“現時点で想定されている利用方法によれば、”を削除など

3. BWA用運用ガイドラインの制定にともなう用語の意味の明確化を目的とした修正
等、表現の適正化

（携帯電話→携帯電話サービス、携帯電話→携帯電話用設備、警察機関等→緊急通報受理機関
など

4. フェムトセル基地局の設置位置確認のための事業者間協議事項（第2章）に関し、
実態に応じた措置例の追加、事業者間で受け渡しする情報の追加、削除、当該情報
の目的外利用の禁止の明示

- ① 誤った位置情報が緊急通報受理機関に通知されないようにするための措置例として
“フェムトセル基地局を物理的に移動できないように固定する。”を追加
- ② ブロードバンド回線等契約者情報が設置位置確認以外の目的で利用されないようにする
ための規定を明文化
- ③ 設置位置確認に利用していない情報として“サービスの種別”を削除
- ④ 設置位置確認に利用している情報として“ブロードバンド回線事業者が付与する回線識
別ID”を追加
- ⑤ ブロードバンド事業者から携帯電話事業者に提供するブロードバンド回線契約者の個人
情報については、個人情報の保護に関する法律（平成15年法律第57号）に則り、目的
外利用を行わないこととする。

5. 責任分担の明確化（第3章）に関し、障害の発生した設備に応じた対応者の明確化

装置障害等発生時の原因別対応の例として、“ISP設備の障害が発生した場合は、ISPが、ISP契約者との契約や携帯電話事業者、ブロードバンド回線事業者又は他のISPとの間の契約に従って復旧等の対応をするものとする。”を追加

6. フェムトセル基地局契約者に対する事前説明・周知事項（第4章）に関し、フェムトセル基地局契約者が書面の交付に代えて説明することに同意した場合に、電子メールの送信による方法等を追加

フェムトセル基地局契約者に対する事前説明等の方法として、“フェムトセル基地局契約者が書面の交付に代えて説明することに了解した場合、電気通信事業法施行規則第22条の2の2第2項ただし書の方法を含む。”を追加

7. その他（第5章）の差別的取扱いに関し、携帯電話事業者だけでなく、ブロードバンド事業者も同様とすることを明確化

携帯電話事業者に加え、ブロードバンド事業者にも同様の規定として、“また、ブロードバンド事業者も特定の携帯電話事業者やその利用者に対し、差別的な取扱い等を行わないことを基本として対応することが必要となる。”を追加

以上